

輝け！シン尾花沢中

第30号

令和7年

5月23日

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

「自主学習ノート」による学習②～「なぜ」を洗い出す予習～

「なぜ」は、学習に取り組むときの大きなモチベーションになります。

4月の全校オリエンテーションでも、片平真希先生から右の図のような説明がありました。このように、学習は予習、授業、復習のサイクルを「なぜ」を中心に回すことで、深い理解が得られることが分かっています。

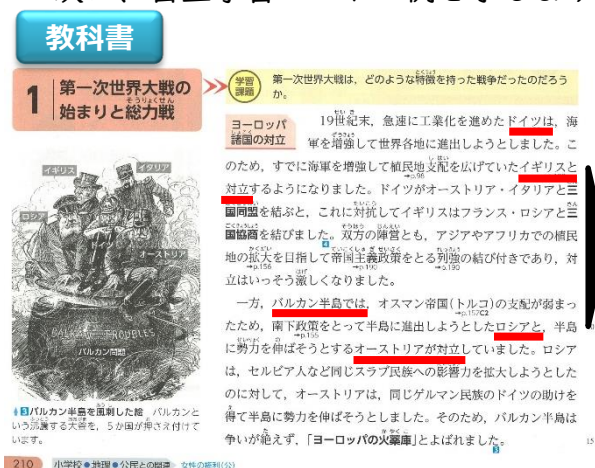
今回は、タブレットを使った板書撮影による復習を提案しました。

今回は、「なぜ」に対する解答を予想する予習を紹介します。

具体的には、次の授業での学習内容について、教科書の重要事項にアンダーラインを引いた後、自主学習ノートに次のように書いていきます。

- ① 教科書からわかったことを、自分の言葉でノートにまとめる。
- ② 教科書からわかったことの「なぜ」を質問の形にして書く。
- ③ ②で設定した質問に対して、自分なりの予想解答を書く。
- ④ ③の予想解答の自信度を3段階で評価する。

次に、自主学習ノートの例を示します。



予習の自主学習ノート例

- ①ア「ドイツはイギリスと対立」
イ「バルカン半島では、ロシアとオーストリアが対立」
- ②ア「なぜ、ドイツはイギリスと対立したのか」
イ「なぜ、バルカン半島で、ロシアとオーストリアが対立したのか」
- ③ア「ドイツが、工業化により海軍を増強して世界進出を目指したがすでにイギリスが海軍を増強して植民地支配をしていたから」
イ「オスマントルコの支配が弱まったバルカン半島に、ロシアとオーストリアが勢力を伸ばそうとしていたから」

※教科書や資料集だけでなくタブレットを使って調べよう！

- ④自信度を3段階で記入⇒ア：B、イ：A

※この数値が1つでも大きくなっているように！

家庭学習で、疑問を生み出す練習になるとともに、課題が自分事になります。そして、その課題をもって授業に臨めば、主体的な学びとなり、仲間との学習活動も充実し、深い理解につながります。正にこれは、全国の学校で目指している「主体的・対話的で深い学び」です。

「なぜ」を洗い出す予習。ぜひ、挑戦してみてください。

【文責：校長 工藤雅史】

参考文献：「予習の科学」篠ヶ谷圭太 図書文化社